

各地区の実証実験の実施状況について

八木が谷地区

1. 実施状況（平成24年4月1日～平成24年8月26日 延べ148日間）

- ・延べ利用者数 35,664人（一日平均 241.0人）
平成23年度一日平均 232.8人
平成22年度一日平均 192.4人

そのうち

- 平日利用者数 25,970人（一日平均 265.0人）
- 土休日利用者数 9,694人（一日平均 193.9人）
- ・今年度目標人数 246人/日

2. 発生した問題点等

- ・今年度目標人数に達していない。

6月20日に北部地区住民代表の委員と共に、地域組織を訪問し、この問題点等について打合せを行った。その中で、より一層の利用促進を図るよう要望した。今後も利用者数に応じて開催していく。

3. その他

- ・平成24年4月28日から今まで運行していた小型バス車両より、定員が多い小型バス車両に変更となった。
- ・7月21日、22日にふなばし市民まつり二和向台会場が開催された際、二和向台駅前通りが通行止めとなったため、二和向台駅入口～二和向台駅間を運休し、運行間隔を1時間間隔とし、運行した。

丸山地区

1. 実施状況（平成24年4月1日～平成24年8月26日 延べ148日間）

- ・延べ利用者数 53,196人（一日平均 359.4人）
平成23年度一日平均 297.7人
平成22年度一日平均 169.7人

そのうち

- 平日利用者数 38,646人（一日平均 394.3人）
- 土休日利用者数 14,550人（一日平均 291.0人）
- ・今年度目標人数 293人/日

2. 発生した問題点等

バス停、運行頻度、運賃に関する苦情が発生した。

3. その他

平成24年4月28日から今まで運行していた小型バス車両より、定員が多い小型バス車両に変更となった。なお、バス車両が変わったことに伴う苦情が発生したが、車両自体の大きさはほぼ変わらないことから、理解を求めた。

田喜野井地区

1. 実施状況（平成24年4月1日～平成24年8月25日 延べ147日間）

- ・延べ利用者数 37,982人（一日平均 258.4人）
 - 平成23年度一日平均 215.4人
 - 平成22年度一日平均 192.3人

そのうち

- 平日利用者数 27,716人（一日平均 282.8人）
- 土休日利用者数 10,266人（一日平均 209.5人）
- 臨時便利用者数 2,182人（一日平均 22.3人）
- ・今年度目標人数 235人/日
- ・延べ乗り残し乗客数 763人 運行日数147日のうち、116日で発生。
下記の通り、予備車を用い続行便の運行を平日に限り平成24年4月1日から運行している。
津田沼発 6時30分、7時05分、7時50分、8時30分
16時00分、16時40分、17時20分、18時00分
なお、続行便であるため、都合により運行しないこともある。

2. その他

第17回の協議会において、長期的な課題として運行車両の小型バス化について問題提起があったことから、7月3日に京成バス、警察、東部地区住民代表及び地域組織と共に、実際に小型バスを用いて現地にて調査を行った。調査結果については小型バス化には、

部分的な道路拡幅が最低3箇所必要。また、部分的に拡幅を行ったとしても、ガードマンの配置が不可欠。

交差点改良が1箇所必要。

田喜野井1丁目バス停留所付近の坂道は、立ち席利用者に危険なため、田喜野井1丁目バス停留所を通らないルートになる。

と言う大きな問題が明確になった。

道路拡幅や交差点改良には用地買収が伴うため、周辺住民に多大な影響、及び多額の費用と年数が必要となる。もし、工事を実施したとしても、ガードマンの永年配置や田喜野井1丁目バス停留所への運行ができないことを検討すると、現時点ではワゴン車による運行が適正であるという結論に至った。今後の小型バス車両化についての検討は、周辺の交通状況や道路状況の変化を見極めていく。また、乗り残し人数の低減については、今後、事業者と共に検討していく。